

平成29年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成30年5月

田原市（愛知県）

○計画期間：平成28年4月～平成33年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

田原市では平成28年4月以降、田原市中心市街地活性化基本計画に基づき「多くの市民や来訪者で賑わうまちづくり」「住みたくなる、住み続けたいまちづくり」「誰もが活動したくなるまちづくり」を基本方針として、中心市街地の活性化に向けた各種事業を実施している。

中心市街地における主な取組は、駅前一体活用プロジェクト事業として三河田原駅前にホテル誘致をした結果、事業者が決定した（現在、平成31年1月開業に向け建設工事中）。

三河田原駅前工場跡地活用事業として、国庫補助金（経済産業省：地域未来投資促進事業費補助金〔まちなか集客力向上支援事業〕／平成29年3月交付決定）の採択を受け、実施主体者(株)あつまるタウン田原と共に平成30年6月の商業施設の開業に向けた実施設計・建設工事及び子育て施設の関係者調整・実施設計等に取り組んだ。

水辺ウォーキングトレイル修景事業として、散策道の桜並木の整備及び舗装美装化を一部（L=134.6m）実施し、歩行環境の整備に取り組んだ。

中心市街地内では、近年における三河田原駅舎の整備や田原駅前通り線の全線開通など街並景観が整ってきていることや、計画事業である商業施設やホテル建設の進捗により街並が目に見えて様変わりしている真っ只中にあり、関係者の活性化への期待も日に日に大きくなっている。

しかし現時点では、計画期間の2年目が終了した段階であり各事業の成果が見える段階にないため、中心市街地内の状況に大きな変化はなく回遊人口や居住人口など中心市街地の活性化への即効性は現れていない。今後、各事業が進捗していけば、居住人口・歩行者・新規出店者の増加など効果が現れることが期待される。

今後も引き続き、まちなかの魅力づくりを着実に進め中心市街地の活性化を推進していく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（中心市街地区域）	平成27年度 （計画期間開始前年度）	平成29年度 （フォローアップ年度）
人口	2,941	2,963
人口増減数		2
社会増減数		
転入者数		

※抽出月日：各年4月1日

## 2. 平成 29 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

計画記載事業の実現に向け、三河田原駅前工場跡地活用事業などのハード事業や、まちなか賑わいイベント開催事業などのソフト事業について、官民一体となって取り組むことができたことから、基本計画は概ね順調に進捗していると評価する。

また、中心市街地活性化協議会の下部組織として、運営会議・タウンマネジメント会議・事業化検討会議を設け、計画記載事業の検討・調整・進捗状況の確認・情報共有を図るなど、効果的に取り組むことができた。

三河田原駅前工場跡地活用事業に伴う商業施設及び親子交流施設の開業や、駅前一体活用プロジェクト事業に伴うホテル開業等によるまちなか賑わいの創出に大いに期待している。

田原市には引き続き、市が実施主体となっている計画記載事業の着実な実施をお願いしたい。

併せて、中心市街地の活性化に向けて、関係する各実施主体が今後も積極的に取り組むことを期待する。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
まちなかを歩く人を増やす	歩行者・自転車通行量 (平・休日 3 地点平均値)	1,769 人 (H27)	2,100 人 (H32)	1,863 人 (H29)	①	①
まちなかに住む人を増やす	居住人口 (中心市街地内)	2,941 人 (H27)	3,040 人 (H32)	2,969 人 (H30)	①	①
新規出店や活動場所を増やす	新規出店・開施設数 (中心市街地内)	17 件 (H22-H26)	25 件 (H28-H32)	10 件 (H28-H29)	①	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

「歩行者・自転車通行量」については、目標達成に寄与する主要事業「三河田原駅前工場跡地活用事業」などが完了していないが、シンボルロード花いっぱい事業・まちなか賑わいイベントの開催・各商店の集客努力などにより、賑わいを保っている。今後も、計画に基づく事業展開により目標の達成が見込まれる。

「居住人口」については、計画に基づく関連事業等の展開により、居住人口は微増した。今後も、計画に基づく空き家・空き地バンク制度など関連事業の展開と民間事業者による住宅開発等を呼び込むことにより、目標の達成が見込まれる。

「新規出店・開施設数」については、目標達成に寄与する主要事業「三河田原駅前工場跡地活用事業」などが完了していないが、平成 29 年度 4 件の実績があった。今後も、計画に基づく関連事業の展開により目標の達成が見込まれる。

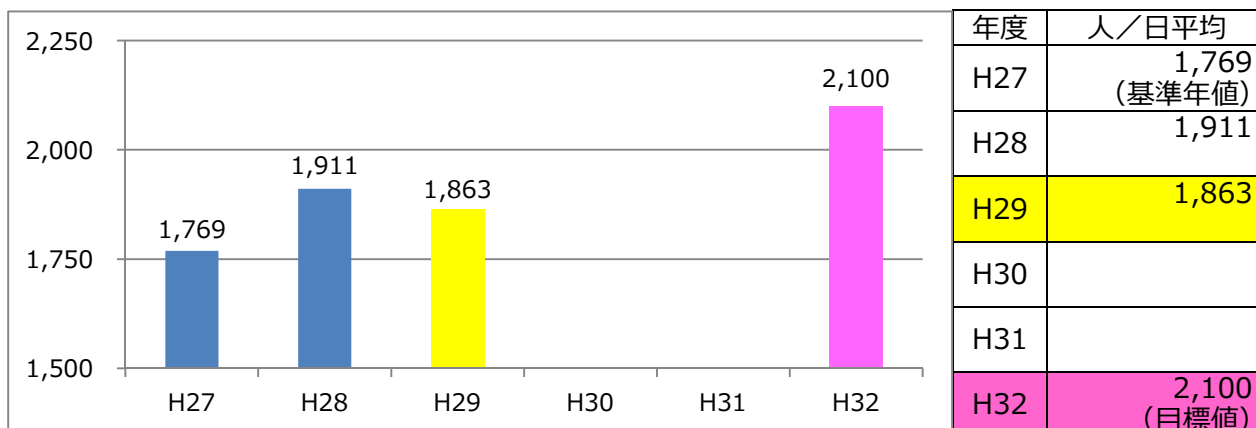
### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップの実施から変更はない。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者・自転車通行量」 ※目標設定の考え方 基本計画 P.53-P.57 参照

##### ●調査結果の推移



※調査方法：調査地点 3 地点を両方向に通過する歩行者・自転車通行者を午前 9 時から午後 8 時まで計測。  
(平日・休日各 1 日の平均値を算定)

※調査月：平成 29 年 9 月

※調査主体：田原市

※調査対象：調査地点 3 地点を通過する歩行者・自転車通行者

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①三河田原駅前工場跡地活用事業（㈱あつまるタウン田原・田原市等）

事業完了時期	【実施中】平成 30 年度
事業概要	来訪者、市民、地域住民が利用し相互交流できる新たな拠点施設として、地域資源を活用した飲食店等の複合施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、平日 106 人/日・休日 155 人/日を見込んでいる。 平成 29 年度：商業施設・広場実施設計・施工、子育て施設実施設計 平成 30 年度：6 月 3 日商業施設・広場開業予定、子育て施設施工

###### ②シンボルロード花いっぱい事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成 25 年度～
事業概要	まちなかの魅力を向上させるため、田原駅前通り線及びはなとき通りを中心に花が咲く植物を市民との協働により植栽し管理する。
事業効果及び進捗状況	本事業等の効果として、平日 132 人/日・休日 165 人/日を見込んでいる。(③と同一/③と合算した事業効果値) 平成 29 年度：年間を通じて事業実施 平成 30 年度：年間を通じて事業実施

###### ③歴史ウォーキングトレイル修景事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成 32 年度
事業概要	道路の歩行環境を快適化するため、歴史資源を結ぶ道路を散策道として舗装美装化など修景整備する。
事業効果及び進捗状況	本事業等の効果として、平日 132 人/日・休日 165 人/日を見込んでいる。(②と同一/②と合算した事業効果値) 平成 29 年度：施工実績なし 平成 30 年度：施工予定なし

④水辺ウォーキングトレイル修景事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成 32 年度
事業概要	道路の歩行環境を快適化するため、区域内河川沿い道路を散策路として桜並木整備や舗装美装化など修景整備する。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果・目標値は設定していない。 平成 29 年度：L = 134.6m 施工 平成 30 年度：L = 140.4m 施工

⑤田原市街地バス運行事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成 27 年度～
事業概要	まちなかの生活利便性を向上させるため、中心市街地内の交通結節点や主要施設を循環して結ぶコミュニティバスを運行する。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果・目標値は設定していない。 平成 29 年度：運行・改善協議（市街地バス東西線：25 便／日） 平成 30 年度：運行・改善協議（市街地バス東西線：25 便／日）

●目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者・自転車通行量は減少したが、主要事業は概ね順調に進捗しており、増加目標の達成は可能であると見込まれる。

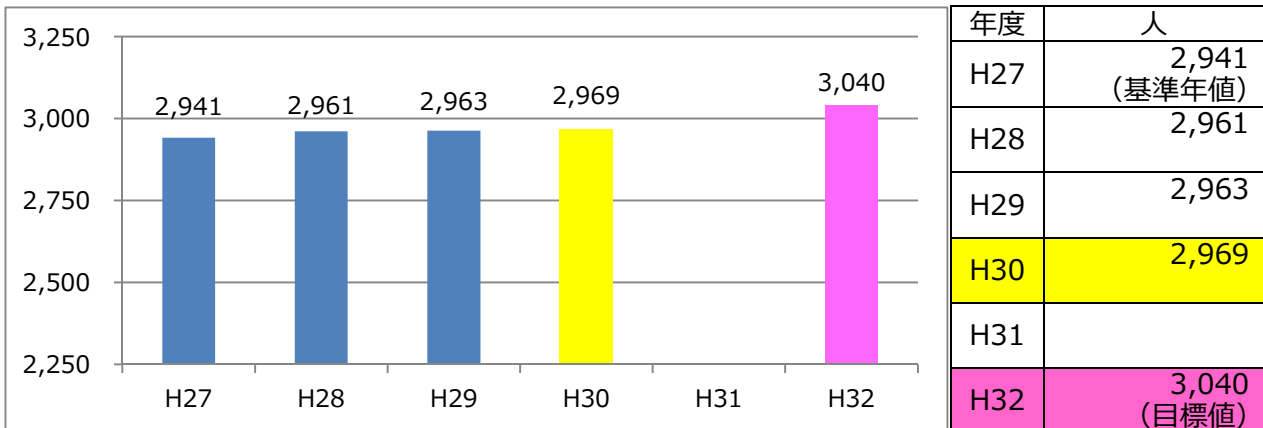
特に、三河田原駅前工場跡地活用事業に伴う商業施設及びまちなか広場の開業（平成 30 年 6 月）により、交流拠点としての機能を発揮し、人の賑わいが生まれることが見込まれる。

今後も、三河田原駅前工場跡地活用事業等による環境整備（子育て施設の整備・道路修景など）と合わせ、まちなか賑わいイベントといったソフト事業を総合的に実施することで、人の賑わいを伸ばしていきたい。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「居住人口」 ※目標設定の考え方 基本計画 P.58-P.61 参照

##### ●調査結果の推移



※調査方法：住民基本台帳人口（毎年4月1日現在／中心市街地区域内人口）  
（住民基本台帳人口の推移から国勢調査ベースの人口を推計）

※調査月：平成30年4月

※調査主体：田原市

※調査対象：中心市街地区域内の人口

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①空き家・空き地バンク活性化事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成21年度～
事業概要	空き家・空き地の流動化及び新規居住者の確保を図るため、既存の空き家・空き地バンク制度の物件数を増やすとともに、家主や地域と居住希望者とのマッチングを強化する。
事業効果及び進捗状況	本事業等の効果として、225人を見込んでいる。 平成29年度：登録、成約に向けた制度周知・仲介（成約実績0件） 平成30年度：同上

###### ②空き家修繕等助成事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成21年度～
事業概要	空き家・空き地の流動化を図るため、空き家・空き地バンク制度を通じて活用する住宅の改築・修繕等に対して助成する。
事業効果及び進捗状況	本事業等の効果として、225人を見込んでいる。（①と同一） 平成29年度：助成活用に向けた制度周知・仲介（助成実績0件） 平成30年度：同上

###### ③住宅供給推進事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成28年度～
事業概要	居住者の増加を図るため、ファミリー世帯の定住や高齢者の居住安定に向けた民間の住宅供給への支援を行う。
事業効果及び進捗状況	本事業等の効果として、225人を見込んでいる。（①と同一） 平成29年度：民間事業者への情報提供・交渉 平成30年度：同上

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

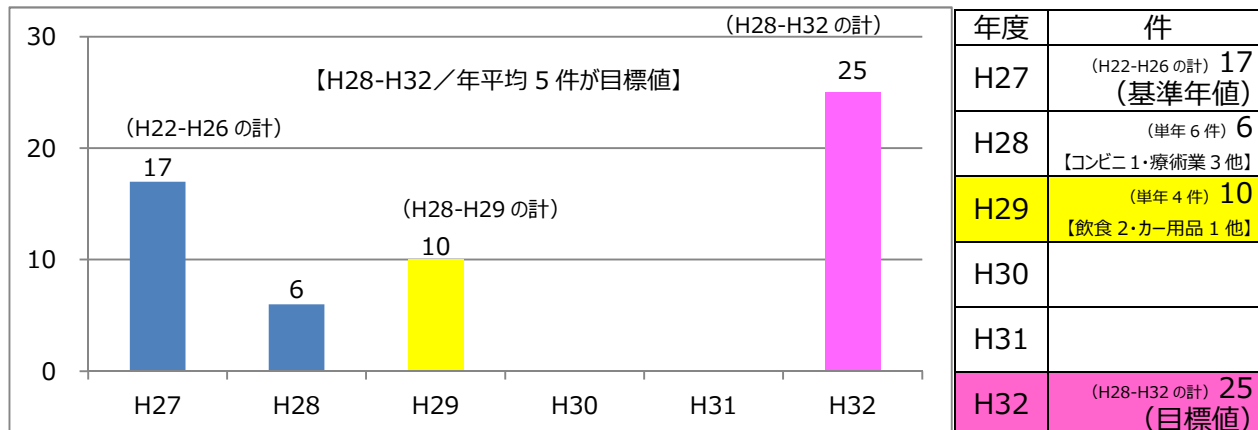
中心市街地内における空き家・空き地の活用ニーズの低さ（空き家であっても所有財産を他者に見られたくない・貸したくない方が多い。）などから、主要事業の実績は芳しくなかったが、住宅供給推進事業により民間投資を呼び込むことなどで、居住人口の増加目標の達成は可能であると見込まれる。

平成29年度に実施した空き家実態調査の一環で空き家所有者へのアンケート調査を行ったが、活用ニーズ意向のある方に対する空き家・空き地バンクへの登録依頼や、平成30年度に策定予定の「空家等対策計画」において、空き家・空き地バンクを中心とした空家の有効利用の促進対策を位置づけ、空家対策を推進していく予定だが、今後も、空き家・空き地バンク制度の積極的な周知や住宅開発など民間事業者の投資を呼び込むことにより、中心市街地の魅力を向上させ、実績を伸ばしていきたい。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「新規出店・開設施設数」 ※目標設定の考え方 基本計画 P.62-P.63 参照

##### ●調査結果の推移



※調査方法：田原市商工会・田原市が新規出店及び施設立地状況を確認し集計

※調査月：平成30年4月

※調査主体：田原市商工会・田原市

※調査対象：中心市街地区域内

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①三河田原駅前工場跡地活用事業（㈱あつまるタウン田原・田原市等）

事業完了時期	【実施中】平成30年度〔再掲〕
事業概要	来訪者、市民、地域住民が利用し相互交流できる新たな拠点施設として、地域資源を活用した飲食店等の複合施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、4件（飲食3・花屋1）を見込んでいる。 平成29年度：実施設計、商業施設・広場施工 平成30年度：6月3日商業施設・広場開業（4店舗開業）、子育て施設施工

###### ②居場所づくり支援事業（田原市）

事業完了時期	【未実施】平成30年度～平成32年度
事業概要	市民主体のコミュニティ空間の整備・運営に対して、市が経費を助成する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、1件を見込んでいる。 平成29年度：事例研究 平成30年度：事例研究、関係者調整、事業制度の詳細設計

###### ③空き店舗活用モデルリノベーション事業（㈱あつまるタウン田原・田原市）

事業完了時期	【実施中】平成32年度
事業概要	新規出店・起業を促進するため、空き店舗を借り上げてモデル改修し、新規出店者に賃貸する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、1件を見込んでいる。 平成28～29年度：事例研究、関係者調整 平成30年度：事例研究、関係者調整、事業制度の詳細設計

④産業人材育成事業（田原市商工会・㈱あつまるタウン田原・田原市）

事業完了時期	【実施中】平成 32 年度
事業概要	新規創業者などの人材を育成するため、商人塾、各種講座等を開催する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、1 件を見込んでいる。 平成 29 年度：セミナーの開催（7 回） 平成 30 年度：セミナーの開催

⑤出店促進事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成 32 年度
事業概要	新規出店・起業を促進するため、空き店舗を活用した出店に係る経費を助成する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、1 件を見込んでいる。 平成 29 年度：事業周知、（助成実績 1 件） 平成 30 年度：同上

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、新規出店・開設施設数の増加目標の達成は可能であると見込まれる。

新規出店等は経済状況などにも影響されるが、今後も、三河田原駅前工場跡地活用事業における環境整備（子育て施設の整備・道路修景など）、産業人材育成事業や出店促進事業といったソフト事業を総合的に実施し、中心市街地の魅力の向上や希望事業者への支援を行い、出店の促進を図っていきたい。